

事業概要

令和7年度



亀山ダム



片倉ダム



矢那川ダム



千葉県 亀山・片倉ダム管理事務所

目 次

1	沿革	1
2	管内概要	3
3	事務所の組織	4
	(1) 組織図	
	(2) 職員構成	
	(3) 所掌事務	
4	令和7年度事業計画書(当初予算)	5
	(1) 県単河川総合開発事業	
	(2) 河川総合開発事業(交付金)	
5	施設の概要	6
	(1) 亀山ダム	
	(2) 片倉ダム	
	(3) 矢那川ダム	
6	ダム管理業務	12
	(1) 亀山ダム管理	
	(2) 片倉ダム管理	
	(3) 矢那川ダム管理	
	(4) 警報局等位置図	
	(5) 通信系統図	
7	参考資料	19
8	県の機構	25
9	歴代所長	26

1 沿革

亀山ダム

昭和 40 年 4 月	水理、地形等の予備調査に着手
昭和 43 年 4 月	地形測量及び概略設計を実施
昭和 44 年 4 月	千葉県港湾工業用水局小櫃川総合開発調査事務所開設 小櫃川総合開発事業としてダム建設のための実地調査に着手
昭和 45 年 8 月	小櫃川総合開発事務所が君津市久留里市場へ移転
昭和 46 年 4 月	国庫補助ダムとして用地買収に着手
昭和 50 年 4 月	ダム基礎工事に着手
昭和 54 年 10 月	ダム本体及び関連設備完成、11月から試験湛水開始
昭和 55 年 4 月	亀山ダム管理事務所を創設し、ダム管理業務に入る
昭和 55 年 7 月	試験湛水完了
昭和 56 年 3 月	亀山ダム建設事業の完成
平成 2 年 4 月	亀山ダム管理事務所に「総務課」、「管理課」を設置
平成 9 年 4 月	「管理課」を改め「管理班」とする
平成 12 年 4 月	「管理班」を改め「管理課」とする
平成 14 年 4 月	事務所名を「亀山・片倉ダム管理事務所」と改称する

片倉ダム

昭和 36 年	予備調査開始
昭和 49 年 4 月	国庫補助事業「河川総合開発」として実施計画調査を開始
昭和 53 年 5 月	片倉ダム建設計画の一時中止(調査のみ継続)
平成 元年	君津土木事務所内に「ダム建設班」を設置
平成 2 年	国庫補助事業「河川総合開発」の建設事業が採択
平成 3 年	君津土木事務所内の「ダム建設班」を改め「ダム建設室」とする
平成 4 年	「矢那川・片倉ダム建設事務所」が発足
平成 5 年	事務所の移転
平成 6 年 7 月	本体工事着工
平成 12 年 12 月	ダム本体及び関連設備完成、試験湛水開始
平成 13 年 4 月	「矢那川・片倉ダム建設事務所」を廃止し、君津土木事務所内に「ダム課」を設置
平成 13 年 11 月	試験湛水完了
平成 14 年 3 月	君津土木事務所から片倉ダム管理を引き継ぐ

矢那川ダム

昭和 61 年	調査開始
平成 2 年	国庫補助事業「河川総合開発事業」の建設事業が採択
平成 2 年 4 月	「矢那川ダム建設事業に関する協定書」調印
平成 3 年 4 月	君津土木事務所内の「ダム建設班」を改め「ダム建設室」とする
平成 3 年 12 月	「矢那川ダム建設事業に伴う補償基準に関する協定書」調印
平成 4 年	「矢那川・片倉ダム建設事務所」が発足
平成 4 年 9 月	本体工事着手
平成 9 年 10 月	試験湛水開始
平成 11 年 11 月	矢那川ダム完成
平成 13 年 4 月	「矢那川・片倉ダム建設事務所」を廃止し、君津土木事務所内に「ダム課」を設置
平成 13 年 6 月	試験湛水完了
平成 22 年 4 月	君津土木事務所内の「ダム課」を廃止し、「維持課」に引き継ぐ
平成 28 年 4 月	君津土木事務所から矢那川ダム管理を引き継ぐ

2 管内概要

亀山・片倉ダム管理事務所は県の南西部に位置し、亀山ダム、片倉ダム、矢那川ダムのダム区域内及び君津市、木更津市、袖ヶ浦市を流れる二級河川小櫃川、木更津市を流れる二級河川矢那川の流域観測局、警報局等が管理範囲である。

小櫃川は流域面積273km²、流路延長88kmという県内でも有数な河川であり、流域は多雨地帯に属していて、中間地域での年間平均雨量は、約2,000mmとなっている。

矢那川は、木更津市南東部の草敷地区にその源を発し、丘陵部を西流して支川の田高川、鎌足川、平川などを合流しながら流下し、木更津市の市街地を貫流して東京湾に注ぐ、流域面積34.4km²、幹線流路延長13.6kmの二級河川である。

亀山ダムは、二級河川小櫃川水系小櫃川の河口から約50km上流の笹川との合流点である君津市川俣地先に位置し、小櫃川総合開発事業の一環として洪水調節、水道用水及び河川環境保全等のための流量の確保を目的とした千葉県で最初の多目的ダムである。ダム工事は昭和40年から開始され、昭和56年3月に完了した。

当ダムは、重力式コンクリートダムであり、高さは34.5m、堤長156m、堤体積81,000m³、総貯水容量14,750,000m³、有効貯水量13,350,000m³である。

房総丘陵の山あいにもまれたダム湖周辺には三石山観音等があり、気軽に自然とふれあうことができるようになっているため、新緑や紅葉時期をはじめとし、四季を通じてハイキング、ボート遊び、釣り、キャンプ等を目的に多くの人々が訪れる。9月には市民花火大会、11月にはオータムフェスティバルが開催され、ダムサイトや湖岸が大変賑わう。

片倉ダムは、亀山ダム上流5kmの二級河川小櫃川支川笹川の君津市笹地先に位置し、亀山ダムと連携して洪水調節、水道用水及び河川環境保全等のための流量の確保を目的とする多目的ダムである。ダム工事は平成6年度から開始され、平成13年度に完了した。

当ダムは、重力式コンクリートダムであり、高さは42.7m、堤長154m、堤体積74,000m³、総貯水容量8,410,000m³、有効貯水量6,540,000m³である。

ダム湖周辺には公園や広場など自然環境を生かした施設が多くあり、道の駅「ふれあいパーク・きみつ」や亀岩の洞窟(濃溝の滝)など、人気の観光スポットを有している。

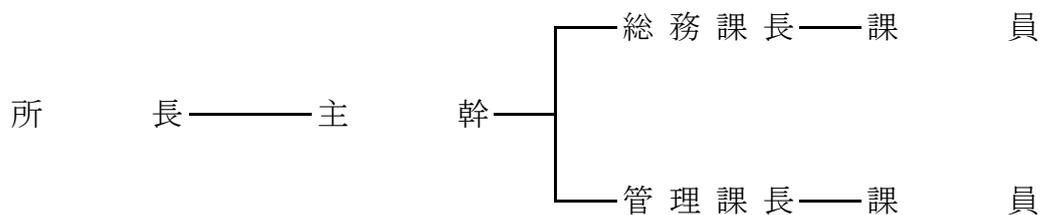
矢那川ダムは、二級河川矢那川水系支川田高川の木更津市矢那地先に位置し、かずさアカデミアパークの開発による雨水流出抑制を主とし、洪水調節や流水の正常な機能の維持を目的とする多目的ダムである。ダム工事は平成4年から開始され、平成11年に完了した。

当ダムは傾斜遮水壁ゾーン型フィルダムであり、高さ29.3m、総貯水容量1,720,000m³、有効貯水容量1,600,000m³である。

ダム湖周辺では春に淡桃白色の八重桜(鎌足桜)が咲き誇り、水面と緑を眺めながらの散策を楽しむことができます。また、かずさアカデミアパークや平野山高蔵寺(高倉観音)など、人気のあるスポットが隣接しているのも特徴である。

3 事務所の組織

(1) 組織図



(2) 職員構成

区分	所長	主幹	課長	副主幹	主査	副主査	技師	計
	1 (技)	1 (技)						2
総務課			1 (事)		1 (事)			2
管理課			1 (技)	1 (技)		4 (技)	3 (技)	9
計	1	1	2	1	1	4	3	13

(4月1日付)

(3) 所掌事務

総務課

- 1 所の総合企画及び調整に関すること。
- 2 請負・入札及び契約に関すること。
- 3 機械器具の管理に関すること。
- 4 資材及び物資の需要調達に関すること。
- 5 土地の収用・買収及び補償並びに登記に関すること。
- 6 歳入及び歳出予算の執行並びに決算に関すること。
- 7 庶務に関すること。

管理課

- 1 ダム及びこれに附帯する施設の維持及び管理の業務に関すること。
- 2 ダム及びこれに附帯する施設の改良工事の調査・設計・施工及び監督に関すること。
- 3 ダム及びこれに附帯する施設の災害復旧等に関すること。

4 令和7年度事業計画書(当初予算)

(1) 県単河川総合開発事業

ア 亀山ダム、片倉ダム及び矢那川ダム管理施設の放流制御システム等電気機械を常に良好な状態に保つため「亀山・片倉ダム点検整備基準」及び「矢那川ダム点検整備基準」に基づき、定期精密点検及び維持修繕を実施する。

イ 水質の現状を把握するため毎年継続して水質調査を実施する。

区分	概要	金額	備考
共同事業	消費的経費 亀山・片倉ダム ダム警備委託 設備点検整備委託 貯水池内堆砂測量 貯水池内水質調査委託 管理施設周辺除草委託 外	225,480 千円 (内訳) 亀山ダム 162,880 千円 片倉ダム 62,600 千円	亀山ダム 治水者負担割合 45.90% 利水者負担割合 54.10%
	投資的経費 亀山ダム 貯水池外堆積土撤去工事 外 片倉ダム 堤体観測設備改良工事 外	1,023,500 千円 (内訳) 亀山ダム 952,500 千円 片倉ダム 71,000 千円	片倉ダム 治水者負担割合 51.60% 利水者負担割合 48.40%
小計		1,248,980 千円	
単独事業	消費的経費 亀山ダム 取水設備点検整備 片倉ダム 公園管理負担金 矢那川ダム ダム警備委託 設備点検整備委託 貯水池内堆砂測量 貯水池内水質調査 管理施設周辺除草委託 外	103,876 千円 (内訳) 亀山ダム 24,500 千円 片倉ダム 7,526 千円 矢那川ダム 71,850 千円	
	投資的経費 矢那川ダム 照明設備LED化改修工 外	129,600 千円 (内訳) 矢那川ダム 129,600 千円	
小計		233,476 千円	
合計		1,482,456 千円	

「主な点検整備」

ア 放流制御設備点検整備	定期点検
イ 洪水吐設備点検整備	〃
ウ 利水放流設備点検整備	〃
エ 表面取水設備点検整備	〃
オ テレメーター放流警報設備点検整備	〃
カ 受配電設備点検整備	〃

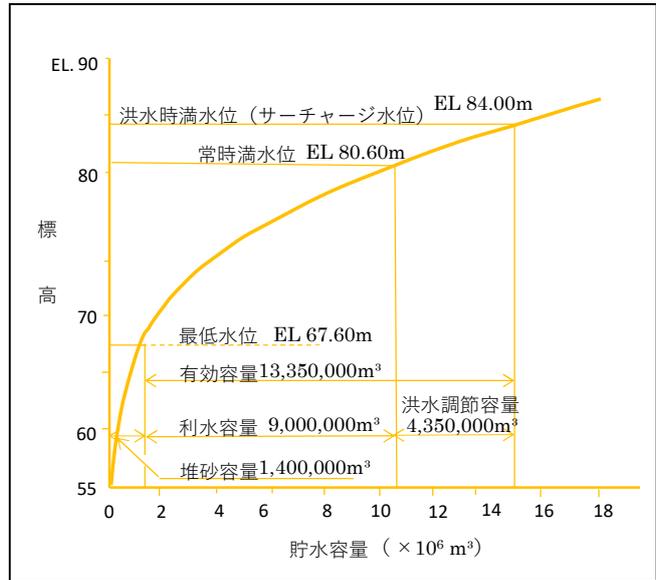
(2) 河川総合開発事業(交付金)

片倉ダム ダム堰堤改良 158,120 千円

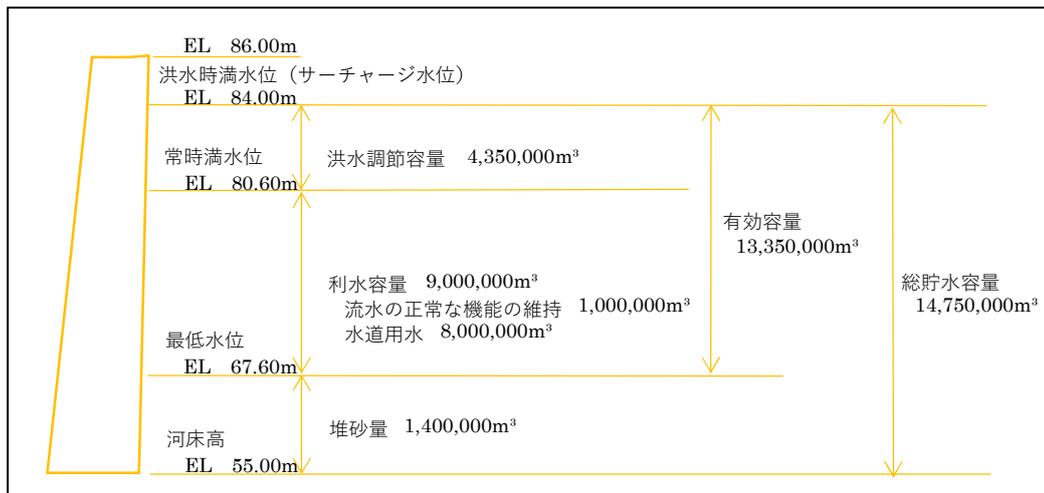
5 施設の概要

(1) 亀山ダム

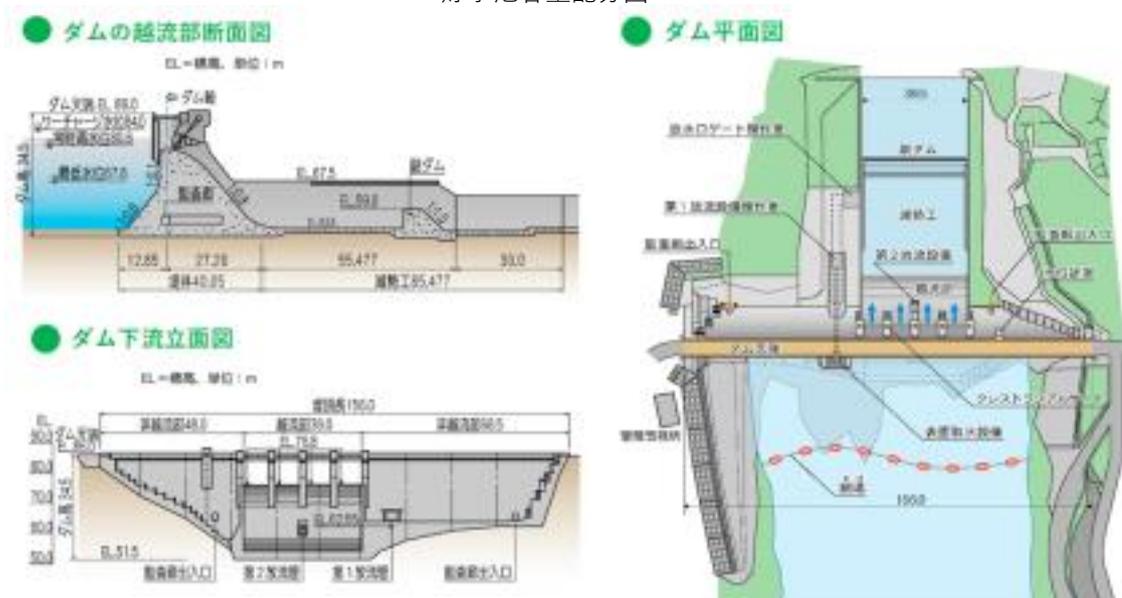
位置	左岸 君津市豊田字滝ノ上42番地 右岸 君津市川俣字上ノ原9番地
形状	重力式コンクリートダム
堤高	34.5 m
堤頂長	156 m
堤体積	81,000 m ³
天端標高 (非越流部)	EL 86.00 m
集水面積	69.7 km ²
湛水面積	1.39 km ²
総貯水量	14,750,000 m ³
有効貯水量	13,350,000 m ³
常時満水位	EL 80.60 m
サーチャージ水位	EL 84.50 m
設計洪水水位	EL 84.50 m
計画高水流量	920 m ³ /s
設計洪水流量	1,490 m ³ /s
洪水吐	クレストラジアルゲート 高8m×幅8m×4門
利水放流管	内径1,100mm×2条



貯水位 - 容量曲線

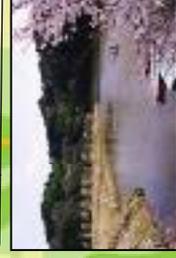


貯水池容量配分図





◆滝原公園



◆稲ヶ崎公園



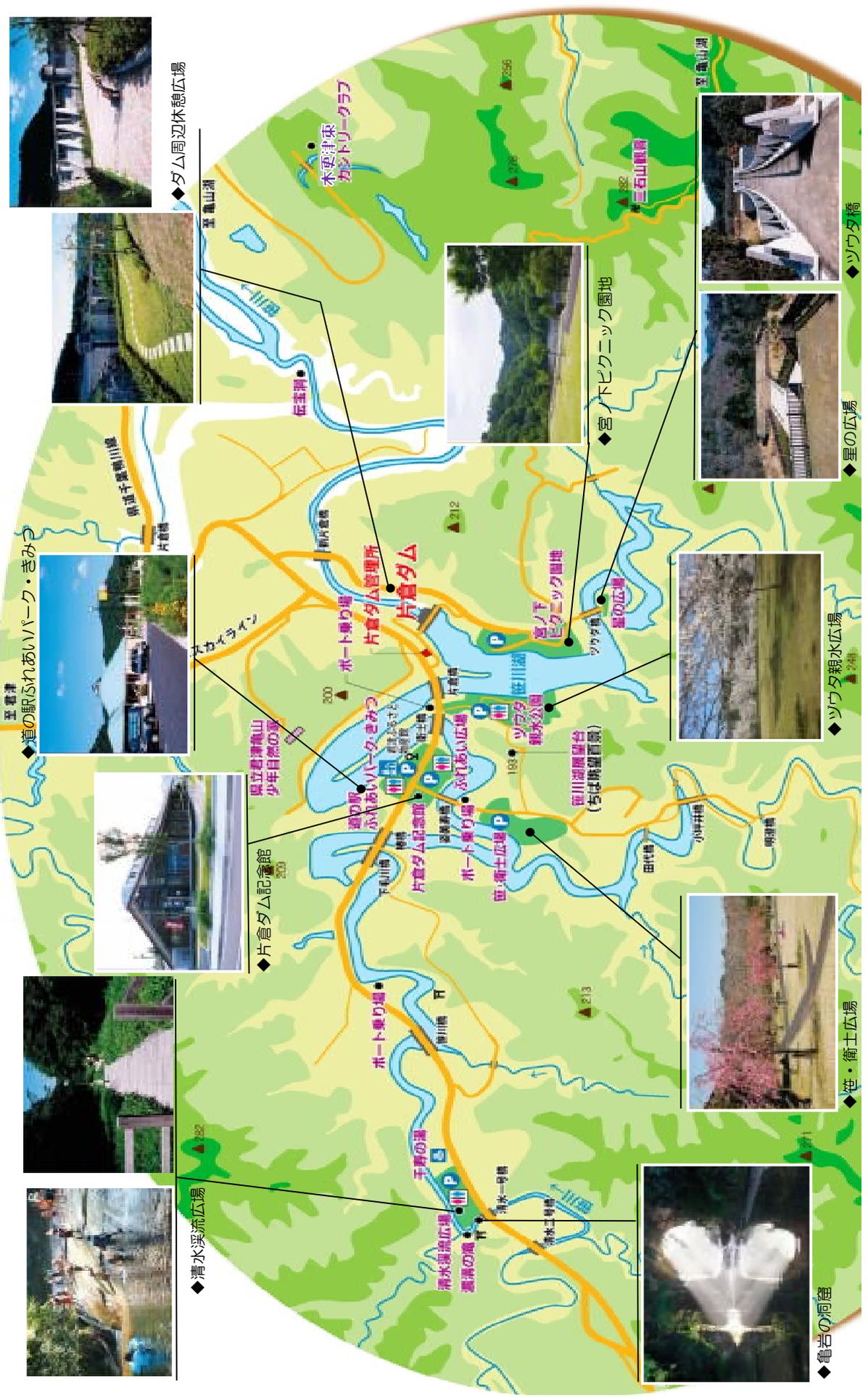
◆草川原公園



◆川俣公園



◆笹公園



◆ダム周辺休憩広場



◆宮ノ下ピクニック園地



◆ツウタ橋



◆星の広場



◆道の駅ふれあいパーク・きみづ



◆片倉ダム記念館



◆清水溪流広場



◆ツウタ親水広場



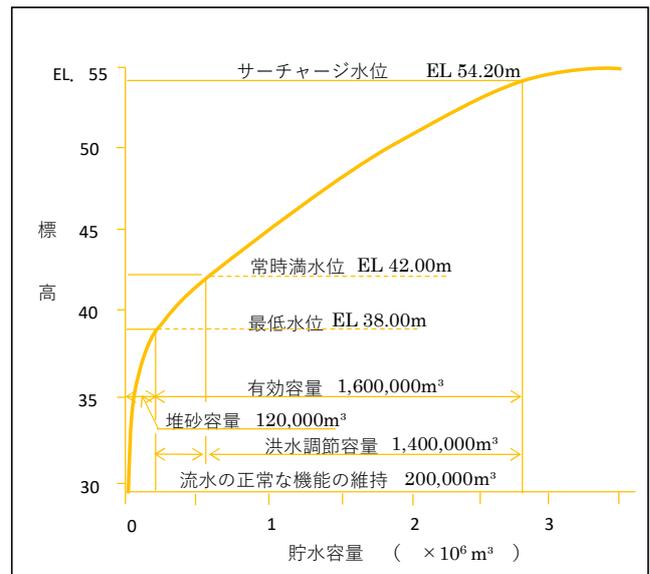
◆笹・衛士広場



◆亀岩の洞窟

(3) 矢那川ダム

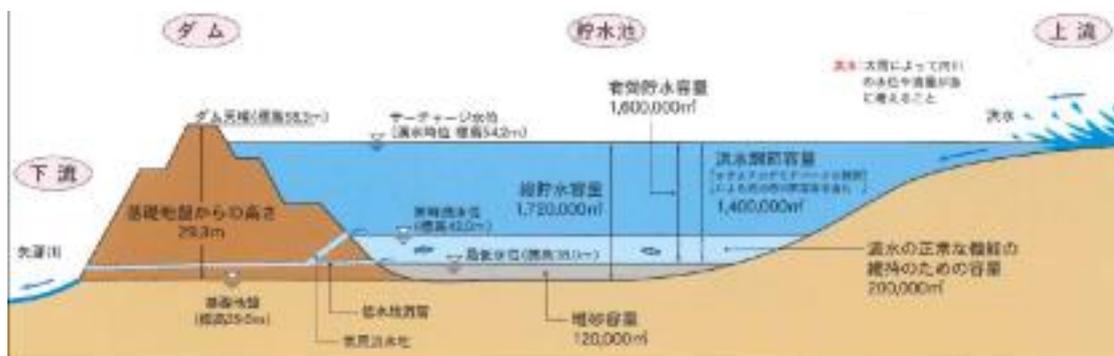
位置	左岸 木更津市大字矢那字向田高 右岸 木更津市大字矢那字上名ヶ谷
形状	アースフィルダム
堤高	29.3 m
堤頂長	284 m
堤体積	600,000 m ³
天端標高 (非越流部)	EL 58.30 m
集水面積	11.7 km ²
湛水面積	0.16 km ²
総貯水量	1,720,000 m ³
有効貯水量	1,600,000 m ³
常時満水位	EL 42.00 m
サーチャージ水位	EL 54.20 m
設計洪水水位	EL 55.70 m
計画高水流量	115 m ³ /s
設計洪水流量	280 m ³ /s
洪水吐	常用洪水吐 高1.0m×幅1.8m 非常用洪水吐 高1.5m×幅80m
利水放流管	低水放流管 径400mm
導水路	全長960m



貯水位-容量曲線



貯水池容量配分図



6 ダム管理業務

(1) 亀山ダム管理

亀山ダムは、洪水調節、水道用水の確保及び流水の正常な機能の維持をその用途とする。

- 1 洪水調節の放流(毎秒流入量200m³を超えた場合)
- 2 水道用水の放流(かずさ水道広域連合企業団)
- 3 流水の正常な機能の維持

「放流設備の操作」

放流設備の操作によるダムからの放流は、放流量が毎秒20m³未満のときは放流管による放流を行い、毎秒20m³以上の時はクレストゲートから放流する。

(参考資料表-1)

「放流の原則」

ダムから放流を行う場合においては、放流により下流に急激な水位変動を生じないように、かつ放流が無効放流とならないように努めるものとする。

「点検整備」

次に掲げる施設を常に良好な状態に保つため、点検整備を行う。

- 1 ダム本体
- 2 ゲート及びバルブ並びに放流管
- 3 ゲート等进行操作するため必要な機械及び器具
- 4 警報、通信連絡、観測等のために必要な設備
- 5 監視のために必要な船舶
- 6 警報のために必要な車両
- 7 その他上記操作に必要な資材

「調査測定」

- 1 気 象 …… 天候、気圧、気温、湿度、風向、風速、降雨量
- 2 貯 水 池 …… 水位、貯水量、流入量、放流量、水温、堆砂量、水質
- 3 ダ ム …… 漏水量、揚圧力、地下水位
- 4 河 川 水 量 …… 上下流地点の水位及び流量
- 5 効 果 …… 洪水調節、水道用水確保、流水の正常な機能の維持

(2) 片倉ダム管理

片倉ダムは、洪水調節、水道用水確保及び流水の正常な機能の維持をその用途とする。

- 1 洪水調節の放流(毎秒流入量100m³を超えた場合)
- 2 水道用水の放流(かずさ水道広域連合企業団)
- 3 流水の正常な機能の維持

「放流設備の操作」

水道用水・既得取水の安定の放流は放流管により行い、洪水調節等は水位上昇とともに常用洪水吐並びに非常用洪水吐から自然越流により放流する。

「放流の原則」

ダムから放流を行う場合においては、放流により下流に急激な水位変動を生じないように、かつ放流が無効放流とならないように努めるものとする。

「点検整備」

次に掲げる施設を常に良好な状態に保つため、点検整備を行う。

- 1 ダム本体
- 2 放流バルブ関連施設
- 3 放流操作するため必要な機械及び器具
- 4 警報、通信連絡、観測等のために必要な設備
- 5 監視のために必要な船舶
- 6 警報のために必要な車両
- 7 その他上記操作に必要な資材

「調査測定」

- 1 気 象 …… 天候、気圧、気温、湿度、風向、風速、降雨量
- 2 貯 水 池 …… 水位、貯水量、流入量、放流量、水温、堆砂量、水質
- 3 ダ ム …… 漏水量、揚圧力、地下水位、変形(岩盤変位)
- 4 河 川 水 量 …… 上下流地点の水位及び流量
- 5 効 果 …… 洪水調節、水道用水確保、流水の正常な機能の維持

(3) 矢那川ダム管理

矢那川ダムは、洪水調節及び流水の正常な機能の維持をその用途とする。

- 1 洪水調節の放流(毎秒流入量 20m^3 を超えた場合)
- 2 流水の正常な機能の維持

「放流設備の操作」

流水の正常な機能の維持のため放流が必要な場合には、放流管により放流を行う。

「放流の原則」

ダムから放流を行う場合においては、放流により下流に急激な水位変動を生じないように、かつ放流が無効放流とならないように努めるものとする。

「点検整備」

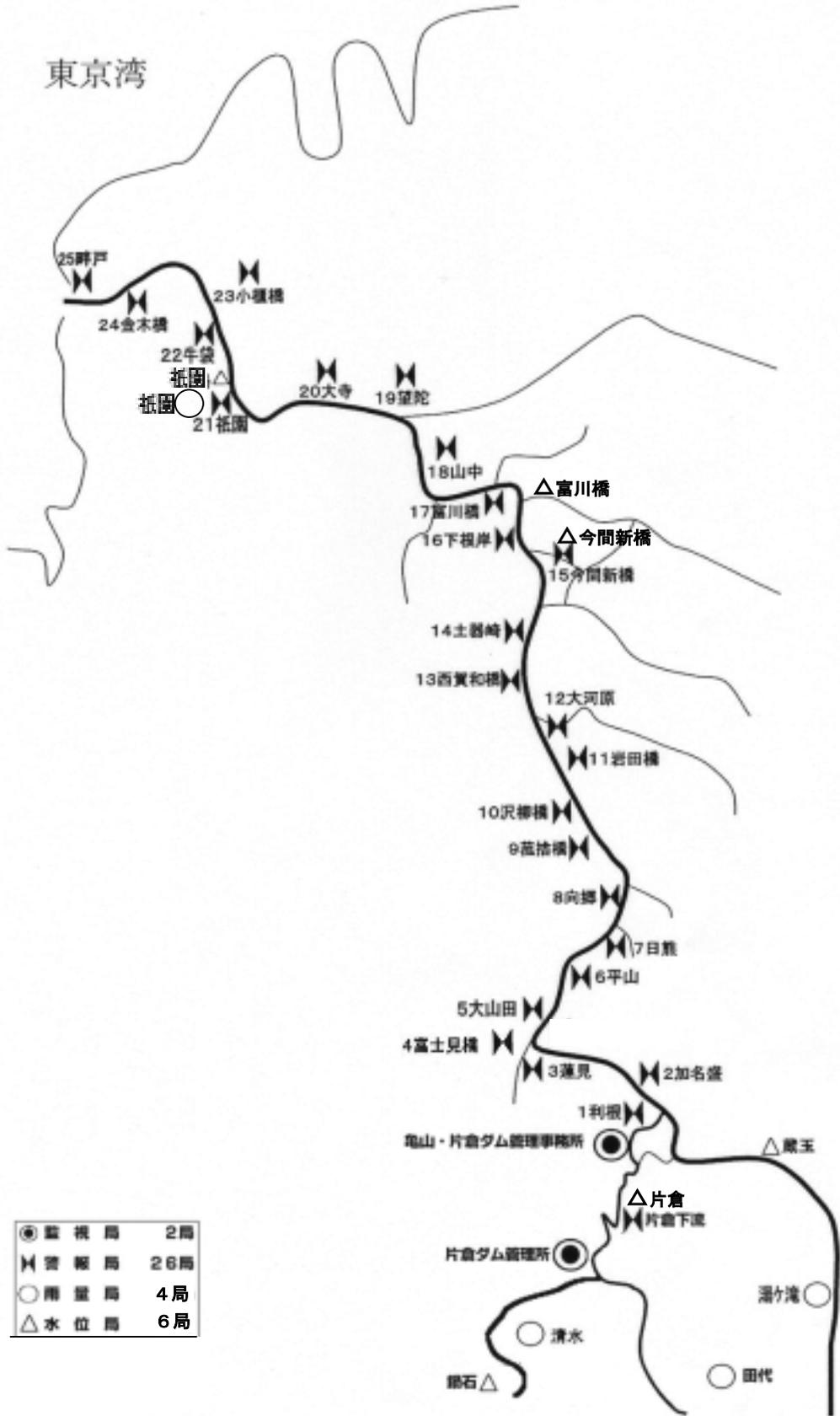
次に掲げる施設を常に良好な状態に保つため、点検整備を行う。

- 1 ダム本体
- 2 放流関連施設
- 3 警報、通信連絡、観測等のために必要な設備
- 4 警報のために必要な車両
- 5 その他上記操作に必要な資材

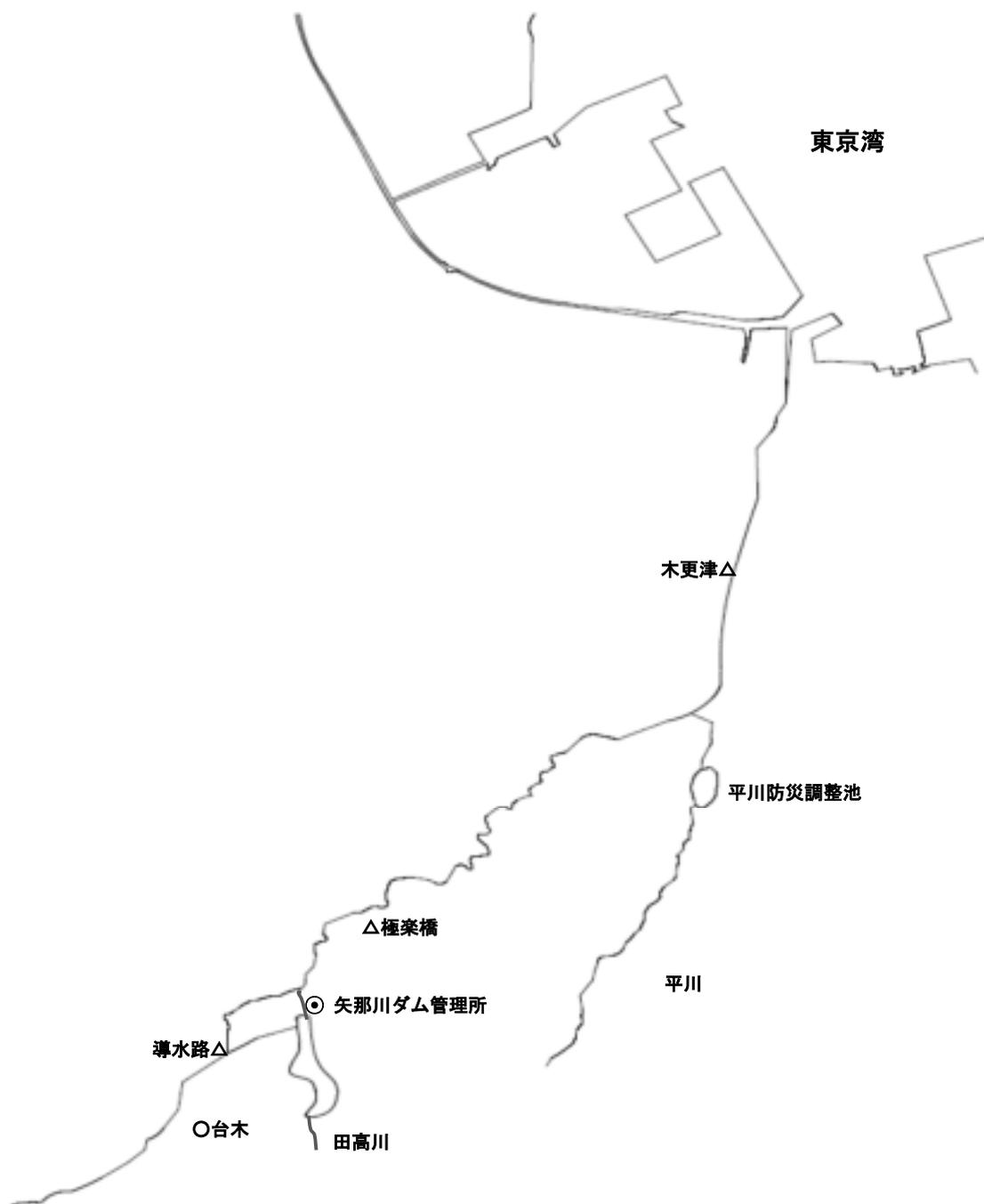
「調査測定」

- 1 気 象 …… 天候、気圧、気温、湿度、風向、風速、降雨量
- 2 貯 水 池 …… 水位、貯水量、流入量、放流量、水温、堆砂量、水質
- 3 ダ ム …… 漏水量、地下水位、変形(岩盤変位)、土圧
- 4 河 川 水 量 …… 上下流地点の水位及び流量
- 5 効 果 …… 洪水調節、流水の正常な機能の維持等

(4) 警報局等位置図
 亀山・片倉ダム警報局及び観測局位置図

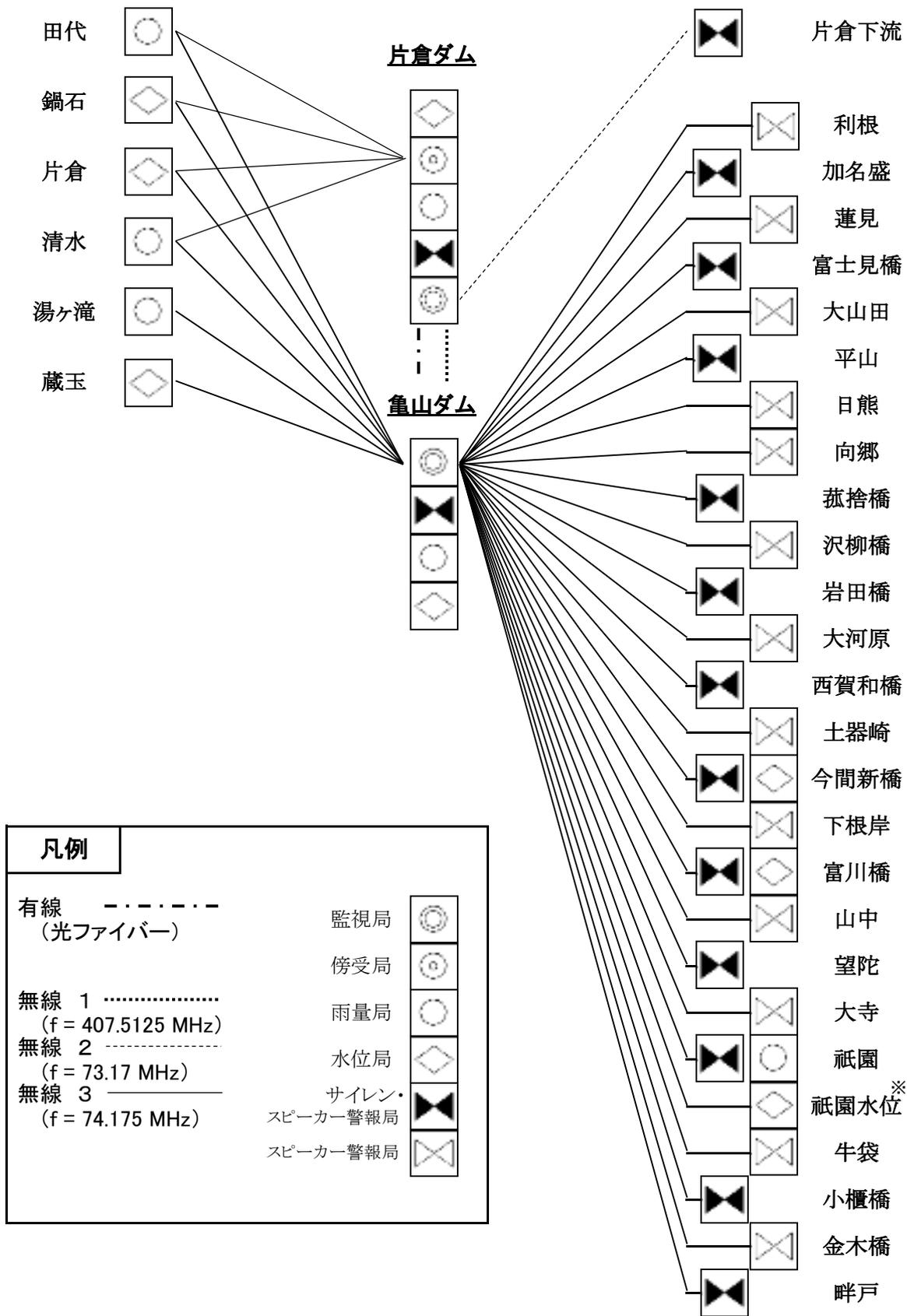


矢那川ダム観測局位置図



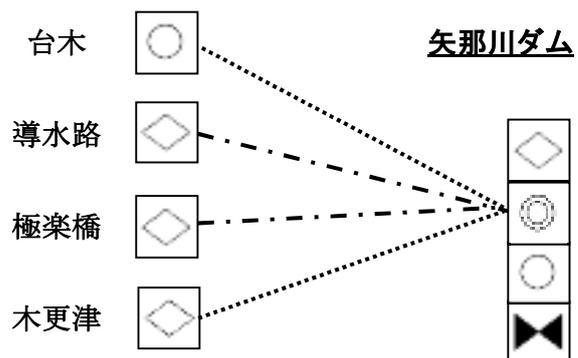
○監視局	1局
△水位局	3局
○雨量局	1局

(5) 通信系統図 亀山・片倉ダム通信系統図



※小櫃堰の水位計により観測

矢那川ダム通信系統図



凡例			
有線	--- · --- ·	監視局	
無線	雨量局	
	(f = 407.5125 MHz)	水位局	
		サイレン・ スピーカー警報局	

7 参考資料

亀山ダム管理設備

管理設備一覧表

区 分	種 類	構 造 規 格
放流設備	第一放流設備	放流管 径1,100mm(利水放流) 1条
	第二放流設備	放流管 径1,100mm(利水放流) 1条
	表面取水設備	半円形多段式ゲート(3段) ローラーゲート(幅1.5m~2.0m 有効高13.4m) 1門
	洪水吐設備	クレストラジアルゲート(幅8.00m 高8.00m) 4門
電気設備	受配電盤設備	高圧受電盤(7.2KV) 変圧器盤(150KVA)他
	予備発電設備	ディーゼル機関 出力125KVA 4サイクル水冷6気筒
	空 調 設 備	空冷ヒートポンプエアコン
	照 明 設 備	監査廊、放流設備室内、ダム天端、クレストゲート室内他
通信設備	警報無線装置	送信出力 2.5-5KW サイレン・スピーカー12局、スピーカー13局 計25局
	雨 量 局 等	雨量局4局、水位局6局
	無 線 装 置	亀山ダム局
	電話交換装置	1台
観測装置	雨量観測装置	湯ヶ滝、清水、亀山、祇園 計4箇所
	水位観測装置	超音波式1箇所、フロート式1箇所、投込式4箇所 電波式1箇所
	提体観測装置	揚圧力測定、漏水量測定設備等
	気象観測装置	風向、風速、気温、湿度、気圧等
監視設備	放流制御設備	情報処理装置、データ出力装置一式、操作卓、表示盤他
	地下水位計	地下水位観測井用自記水位計 18箇所
警報設備	放流警報局	サイレン・スピーカー12局、スピーカー13局、監視局1局

片倉ダム管理設備
管理設備一覧表

区 分	種 類	構 造 規 格
放流設備	主放流設備	主 管 径900mm(利水放流) 分岐管 径250mm(利水放流)
	表面取水設備	直線多段式(2段) ローラーゲート(幅3.50m×有効高8.30m) 1門
	洪水吐設備	常用洪水吐 (幅 9.00m×高6.90m) 2門 非常用洪水吐 (幅14.00m×高1.10m) 2門
電気設備	受配電盤設備	高圧受電盤(7.2KV) 変圧器盤(75KVA)他
	予備発電設備	ディーゼル機関 出力70KVA 4サイクル水冷6気筒
	空 調 設 備	空冷ヒートポンプエアコン
	照 明 設 備	監査廊、バルブ室、取水室、ダム天端、水位計室
通信設備	警報無線装置	送信出力 0.1KW サイレン・スピーカー1局 スピーカー1局
	雨 量 局 等	雨量2局、水位局2局
	無 線 装 置	片倉ダム局
	電話交換装置	1台
観測装置	雨量観測装置	片倉、田代 計2箇所
	水位観測装置	超音波式1箇所、フロート式1箇所、投込式1箇所
	提体観測装置	揚圧力計、温度計、地盤変位計、漏水量計、地震計、 間隙水圧計
	気象観測装置	風向、風速、気温、湿度、気圧、水温等
監視設備	放流制御設備	情報処理装置、データ出力装置一式、操作卓、表示盤他
	地下水位計	地下水位観測井用自記水位計 7箇所
警報設備	放流警報局	サイレン・スピーカー1局、スピーカー1局、監視局1局

矢那川ダム管理設備
管理設備一覧表

区 分	種 類	構 造 規 格
放流設備	低水放流設備	低水放流管 径400mm
	導流設備	導水路 全長960m
	洪水吐設備	常用洪水吐 (高1.0m×幅1.8m) 1門 非常用洪水吐 (越流水深 1.5×幅80m)
電気設備	受配電盤設備	低圧受配電設備(50KVA)他
	予備発電設備	ディーゼル機関 出力65KVA 4サイクル水冷6気筒
	空 調 設 備	空冷ヒートポンプエアコン
	照 明 設 備	ダム天端、導水路トンネル、導水路沈砂池、常用洪水吐 左岸上流
通信設備	雨 量 局 等	雨量1局、水位局3局
	無 線 装 置	矢那川ダム局
	電話交換装置	1台
観測装置	雨量観測装置	台木 計1箇所
	水位観測装置	投込3箇所、超音波式1箇所
	提体観測装置	表面沈下計、多段式地盤沈下計、挿入式傾斜計、地震計、 層別沈下計、間隙水圧計、土圧計、境界面滑り変位計、 オープンピエゾ計、現地盤沈下計
	気象観測装置	風向、風速、気温、湿度、気圧等
監視設備	放流制御設備	情報処理装置、データ出力装置一式、操作卓、表示盤他
警報設備	放流警報局	警報局1局(サイレン、スピーカ)、監視局1局(ダムサイト警報局)

表-1

亀山ダム年間降雨状況と亀山ダムゲート操作日数

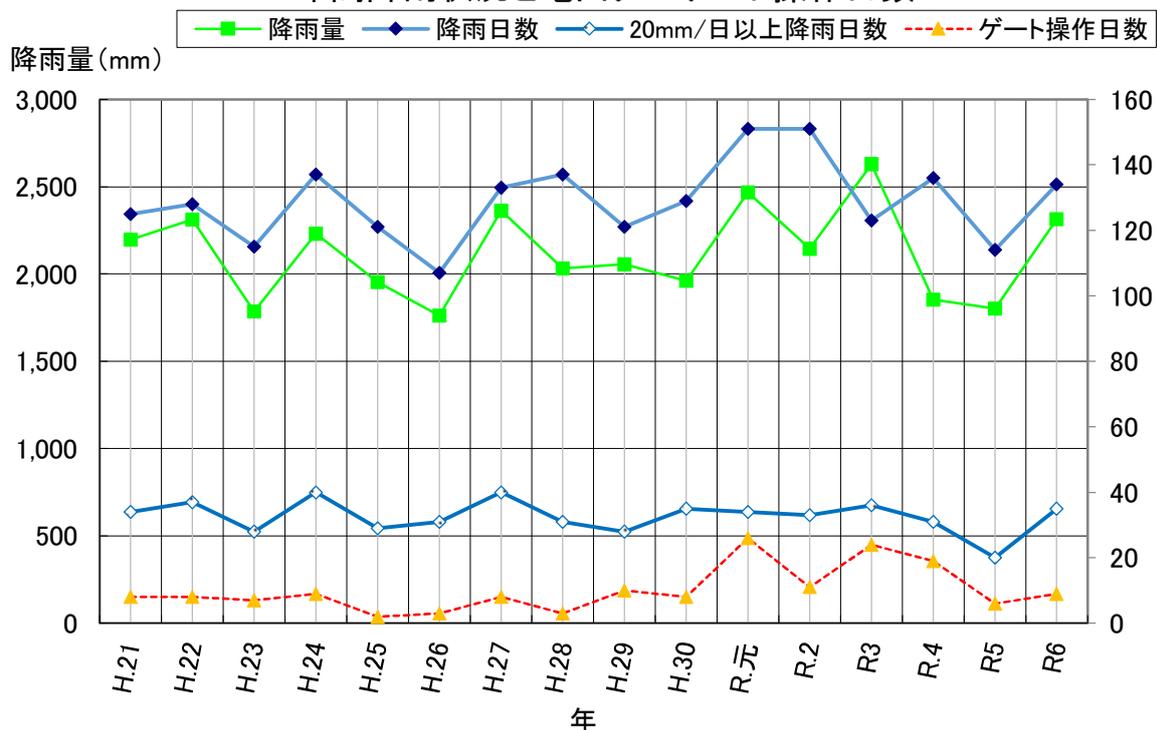
年	降雨量	降雨日数	20mm/日以上 降雨日数	ゲート操作日数		
				日数	洪水調節	
1	S.55	2,089.5	125	41	36	0
2	S.56	1,381.0	123	19	15	2
3	S.57	1,936.5	128	28	24	2
4	S.58	1,798.0	113	35	23	1
5	S.59	1,092.5	105	19	8	0
6	S.60	1,846.5	127	25	15	3
7	S.61	1,824.5	126	27	16	1
8	S.62	1,989.5	132	35	20	0
9	S.63	2,035.0	138	35	17	2
10	H.元	2,885.5	154	40	32	1
11	H.2	2,154.5	138	31	23	3
12	H.3	2,410.0	128	36	15	2
13	H.4	1,955.0	138	35	12	1
14	H.5	2,190.0	143	35	16	2
15	H.6	1,521.0	104	27	9	1
16	H.7	1,570.0	104	24	13	1
17	H.8	1,749.0	93	26	9	1
18	H.9	1,387.0	111	20	5	0
19	H.10	1,907.0	143	36	17	0
20	H.11	1,583.0	112	20	15	1
21	H.12	1,738.0	114	32	11	2
22	H.13	1,912.0	105	35	13	1
23	H.14	1,888.0	111	30	18	0
24	H.15	2,244.0	136	38	34	3
25	H.16	2,243.0	113	38	34	1
26	H.17	1,719.0	108	25	9	1
27	H.18	2,526.0	135	35	8	4
28	H.19	1,737.0	112	24	6	3
29	H.20	2,175.0	119	33	9	0
30	H.21	2,197.0	125	34	8	0
31	H.22	2,312.0	128	37	8	0
32	H.23	1,785.0	115	28	7	1
33	H.24	2,230.0	137	40	9	0
34	H.25	1,954.0	121	29	2	1
35	H.26	1,762.0	107	31	3	2
36	H.27	2,362.0	133	40	8	0
37	H.28	2,032.0	137	31	3	0
38	H.29	2,055.0	121	28	10	3
39	H.30	1,960.0	129	35	8	1
40	R.元	2,468.0	151	34	26	3
41	R.2	2,145.0	151	33	11	1
42	R.3	2,628.6	123	36	24	3
43	R.4	1,853.0	136	31	19	0
44	R.5	1,802.0	114	20	6	1
45	R.6	2,314.0	134	35	9	1
45年間平均		1,985.5	124	31	14	1

表-2

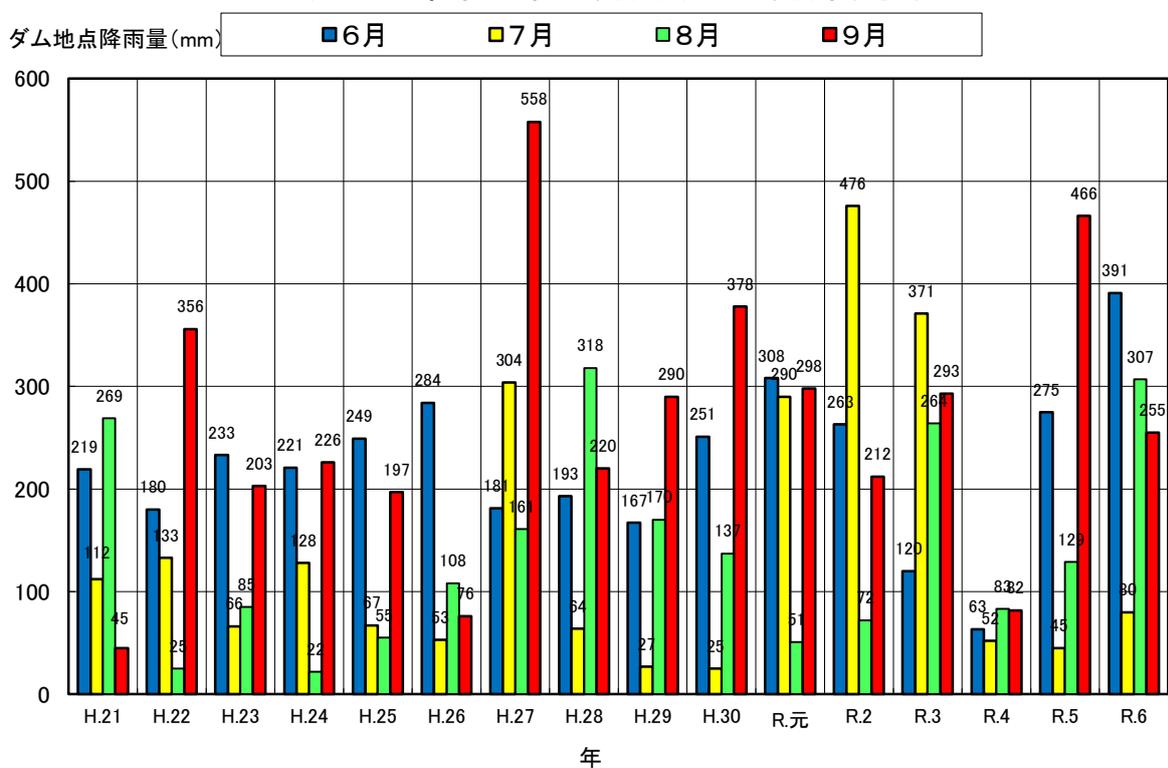
亀山ダム月別(6~9月)降雨状況

年		6 月		7 月		8 月		9 月	
		降水量	降雨日数	降水量	降雨日数	降水量	降雨日数	降水量	降雨日数
1	S.55	111	11	210	14	245	10	146	14
2	S.56	85	15	77	7	112	10	83	13
3	S.57	137	13	266	15	112	12	475	16
4	S.58	215	14	162	12	246	5	112	9
5	S.59	271	21	58	12	50	4	85	8
6	S.60	421	18	60	8	152	7	111	12
7	S.61	134	13	90	13	240	8	210	16
8	S.62	220	11	140	13	118	7	425	16
9	S.63	315	16	92	14	412	17	418	20
10	H.元	322	12	343	18	551	12	207	12
11	H.2	160	12	70	5	128	7	305	15
12	H.3	165	12	69	7	164	9	401	17
13	H.4	320	17	71	11	40	11	118	9
14	H.5	238	14	375	17	287	12	186	13
15	H.6	107	11	42	7	55	7	336	15
16	H.7	258	17	131	14	11	1	277	7
17	H.8	78	8	361	7	36	6	503	10
18	H.9	182	16	198	9	16	3	184	14
19	H.10	233	15	217	16	73	10	254	13
20	H.11	139	13	271	12	116	10	61	10
21	H.12	293	14	253	9	27	5	328	15
22	H.13	150	9	0	0	178	7	288	14
23	H.14	233	14	215	11	177	5	341	13
24	H.15	65	14	278	18	334	10	173	6
25	H.16	224	11	67	4	145	10	195	11
26	H.17	241	13	232	13	278	7	142	7
27	H.18	120	10	225	10	162	10	219	11
28	H.19	70	11	401	16	12	5	300	10
29	H.20	350	15	20	5	176	7	166	9
30	H.21	219	11	112	12	269	8	45	7
31	H.22	180	13	133	9	25	3	356	10
32	H.23	233	11	66	9	85	10	203	11
33	H.24	221	14	128	11	22	6	226	16
34	H.25	249	15	67	6	55	4	197	11
35	H.26	284	13	53	7	108	10	76	7
36	H.27	181	13	304	11	161	9	558	16
37	H.28	193	13	64	9	318	15	220	18
38	H.29	167	10	27	5	170	18	290	15
39	H.30	251	13	125	7	137	9	378	25
40	R.元	308	15	290	22	51	7	298	11
41	R.2	263	14	476	22	72	3	212	19
42	R.3	120	11	371	10	264	10	293	16
43	R.4	63	12	52	13	83	13	82	14
44	R.5	275	13	45	5	129	13	466	12
45	R.6	391	12	80	9	307	10	255	11
45年間平均		210	13	164	11	154	8	249	13

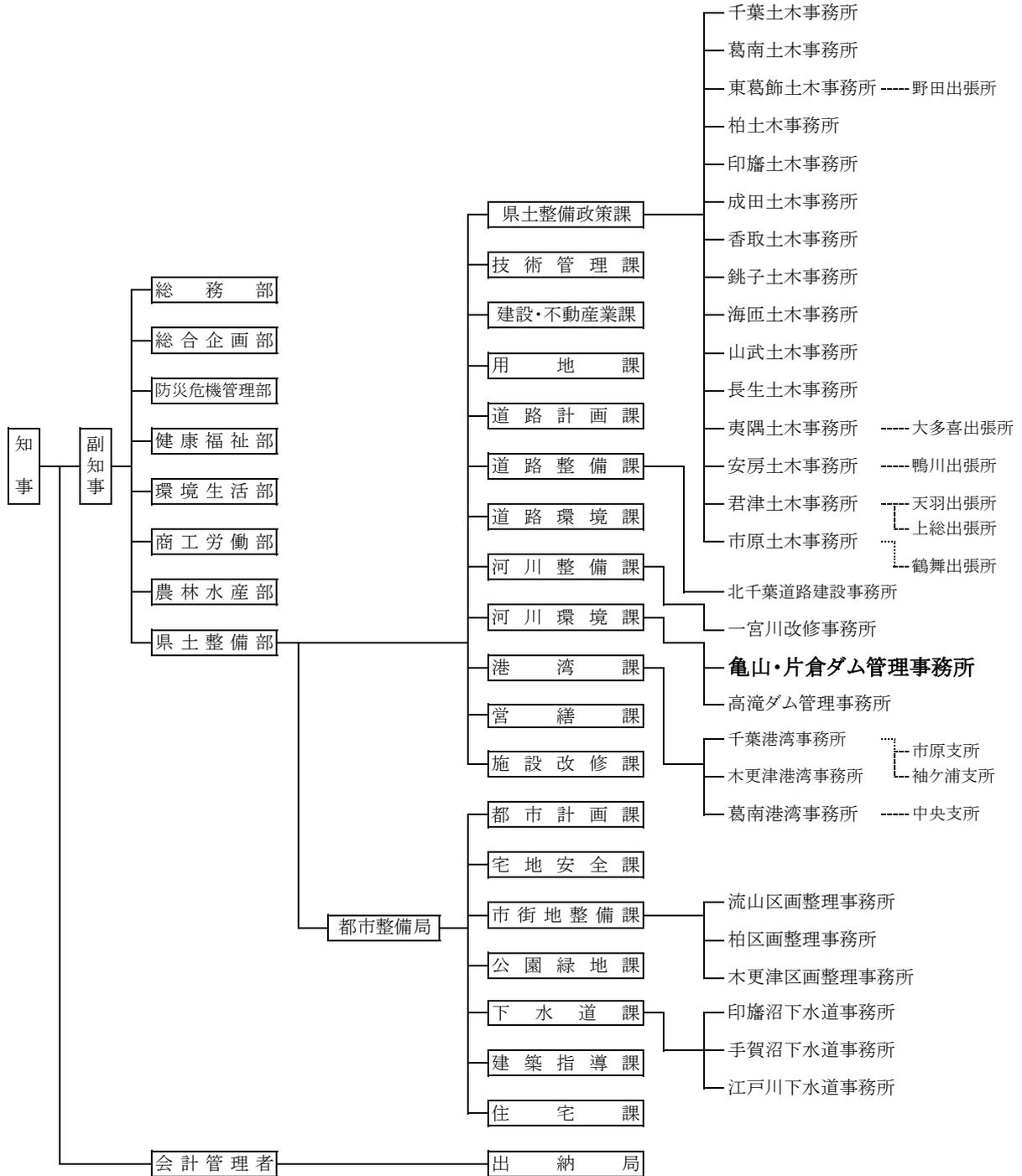
年間降雨状況と亀山ダムゲート操作日数



平成21～令和6年の月別(6～9月)降水状況



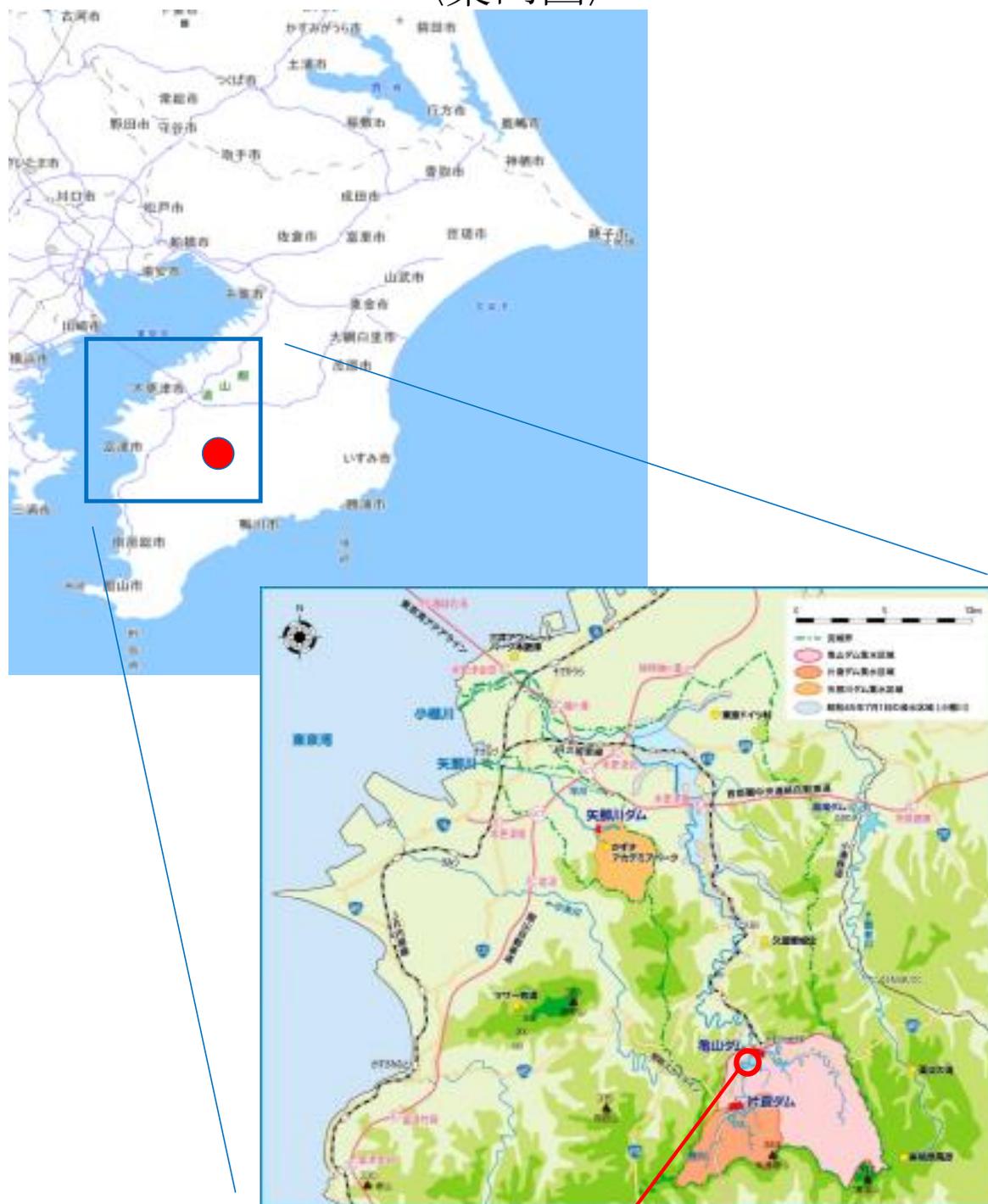
8 県の機構



9 歴代所長

在任期間	所長名
小櫃川総合開発調査事務所 (昭和45年8月から小櫃川総合開発事務所)	
昭和 44 年 4 月 ~ 昭和 45 年 9 月	成 島 省 吾
小櫃川総合開発事務所	
昭和 45 年 10 月 ~ 昭和 53 年 3 月	笠 原 欣 二
昭和 53 年 4 月 ~ 昭和 55 年 3 月	鈴 木 務 弘
亀山ダム管理事務所	
昭和 55 年 4 月 ~ 昭和 57 年 3 月	大 國 喬
昭和 57 年 4 月 ~ 昭和 58 年 3 月	白 坂 精一郎
昭和 58 年 4 月 ~ 昭和 60 年 3 月	渡 辺 直 之
昭和 60 年 4 月 ~ 昭和 62 年 3 月	宮 城 芳 人
昭和 62 年 4 月 ~ 平成 元年 3 月	金 木 忠 昭
平成 元年 4 月 ~ 平成 2 年 3 月	池 上 雪 男
平成 2 年 4 月 ~ 平成 4 年 3 月	大 木 豊 重
平成 4 年 4 月 ~ 平成 6 年 3 月	峯 島 万 幸
平成 6 年 4 月 ~ 平成 10 年 3 月	川 上 義 晴
平成 10 年 4 月 ~ 平成 12 年 3 月	小 平 英 夫
平成 12 年 4 月 ~ 平成 14 年 3 月	安 藤 紀 明
亀山・片倉ダム管理事務所	
平成 14 年 4 月 ~ 平成 15 年 3 月	阿 部 典 男
平成 15 年 4 月 ~ 平成 16 年 3 月	中 野 正 興
平成 16 年 4 月 ~ 平成 19 年 3 月	清 水 浩 之
平成 19 年 4 月 ~ 平成 21 年 3 月	三 輪 秀 朗
平成 21 年 4 月 ~ 平成 22 年 3 月	山 崎 考 一
平成 22 年 4 月 ~ 平成 23 年 3 月	吉 野 泰
平成 23 年 4 月 ~ 平成 24 年 3 月	木 村 善 衛
平成 24 年 4 月 ~ 平成 25 年 3 月	塩 屋 龍一郎
平成 25 年 4 月 ~ 平成 26 年 3 月	森 清
平成 26 年 4 月 ~ 平成 27 年 3 月	野 村 秀 雄
平成 27 年 4 月 ~ 平成 28 年 3 月	高 橋 洋 一
平成 28 年 4 月 ~ 平成 29 年 3 月	中 村 正 美
平成 29 年 4 月 ~ 平成 30 年 3 月	高 山 治
平成 30 年 4 月 ~ 令和 2 年 3 月	大 塚 和 裕
令和 2 年 4 月 ~ 令和 4 年 3 月	前 田 尚 志
令和 4 年 4 月 ~ 令和 6 年 3 月	吉 野 利 秋
令和 6 年 4 月 ~ 令和 7 年 3 月	桐 木 靖
令和 7 年 4 月 ~	矢 代 信 博

〈案内図〉



亀山・片倉ダム管理事務所

〒292-0523 千葉県君津市豊田 33番地

電話:0439-39-2400 FAX:0439-39-2887



亀山ダム



片倉ダム



矢那川ダム